

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	旅行代理店（経 営者）	販売量の動き	・販売量は前年同月比で大幅なプラスとなっている。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・3か月前の平成16年1月は入域観光客数が前年同月 比で落ち込んだ。また、前年の3月から6月は3月に 米国によるイラク戦争の開始やSARS等の影響によ り観光入域客数が減少したが、今年の4月は団体観光 客、修学旅行者等観光入域客数が順調に伸びており、 当施設利用者数も前年対比で26%ほど増加している。
	やや良く なっている	百貨店（担当 者）	販売量の動き	・春休みに入り、衣料品を中心とした売行き動向がよ り活発化している。主力衣料の回復が顕著で、3、4 月における販売数が3か月前と比較して3～4%改善 している。一部不振の子供服・紳士服を除くと婦人衣 料においてはかなりの回復がみられることから、やや 景気動向は良い方向に向かいつつある。懸念していた 総額表示の影響は特にみられないが、食品の特売にお いて200～300円の価格帯が若干影響を受けている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・前年同月比で来客数、売上ともに6ポイント、客単 価でも2ポイント弱とそれぞれ上昇している。
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・580～680円の高単価の弁当の売行きが好調に推移 している。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・消費税込みの価格表示のスタートで上旬は売上ダウ ンの感があったが、観光客の出入は好調である。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	販売量の動き	・4月は例年、連休前で買い控えがあり来客数、単価 が下落する傾向があるのだが、今年度については前年 比で売上108%で好調な動きとなっている。
		観光型ホテル （商品企画担 当）	販売量の動き	・4月の稼働率は、前年同月比で約6ポイント上昇し ており、ゴールデンウィーク以前の個人予約が好調と なっている。
		住宅販売会社 （経営者）	来客数の動き	・来客数の動きが活発化している。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・見学会等の集客が好調であり、年内の住宅取得控除 を念頭に、先月に加えて二世帯住宅の建替層の需要が 増えている。また、第一次取得者層の土地探しも活発 となっている。
変わらない	コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・衝動買いをする人があまりおらず、財布のひもはま だまだ固い。	
	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・前年同月比で横ばいとなっており、3か月前と比較 してもあまり変わらない。	
	家電量販店（副 店長）	販売量の動き	・販売量が3か月前と比べて、90%前半で推移して おり、客が購入する平均単価が下がり、利益も減少す るなど、前年割れが続いている。	
	ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・前年同月比で来客数は増加しているが、低単価によ る集客が功を奏しているものであることから、ゴルフ 場本来の景気回復といえない。しかし、業界全体とし ては来客数減少の傾向にあることを加味すると、引き 続き良好と判断する。	
やや悪く なっている	乗用車販売店 （総務担当）	お客様の様子	・来客数が減少している。	
悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・中心商店街では、観光客に動きはみられるが販売に はなかなか結び付かず、大変四苦八苦している状態 で、一般客は例に漏れず大型店に行くので客の分散化 が懸念される。	
	衣料品専門店 （店員）	単価の動き	・低価格志向の消費者に、今回の消費税込み金額の表 示により割高なイメージを与えてしまい、買い控え、 値下げ交渉が一段と増えている。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営 者） 輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き 受注量や販売量 の動き	・問い合わせ件数及び、受注件数が増えている。 ・新店舗オープン及び新規取引先増による売上が増加 している。
	変わらない	通信業（従業 員）	取引先の様子	・案件の規模は大きくなっているが、楽観視はできな いことから、景気は横ばいの状況であると判断する。

	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新サービスの価格がこれまでの高速デジタル伝送やATMなどのサービスに比べ、高速かつ低料金に設定されていることから、新サービスへの変更依頼が増加している。また、4月から新たに法が改正され、第一種電気通信事業者と第二種電気通信事業者の区別がなくなったため、サービス約款料金にとらわれない相対取引が認められ、価格が下がる傾向にある。これらのことから、販売量は増えても売上増にはつながっていない。 	
	不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・受注量や販売量が横ばいの状態である。 	
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人の打診が若干増え、また、単発だが10名単位の依頼があるなど、動きが少し活発になっている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・県内4社の求人誌掲載総件数は、2月5,948件、3月5,346件、4月4,837件と右下がり減少しているが、各社それぞれ新卒企画や就職支援活動をしており、県内、県外企業ともに多数の協力、支援を得られたことから、掲載依頼件数は徐々に改善している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人数は3か月前に比べて78.7%増加しており、これらを産業別にみると、農林・漁業を除く、各産業全般で増加している。有効求人倍率は、0.44倍で3か月前と同水準となっている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒採用の求人が増加傾向にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業界の好調に支えられ、流通業界も持ち直しつつあるとのことであり、全体的に景況は良い。
	変わらない			
	やや悪くなっている	-	-	
	悪くなっている	-	-	